

研究協力をお願い

昭和大学江東豊洲病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

昭和大学江東豊洲病院における周術期口腔機能管理の現状調査

1. 研究の対象および研究対象期間

2014年3月24日から2017年3月31日までに当院歯科・歯科口腔外科において周術期口腔機能管理を受けられた方

2. 研究目的・方法

周術期における口腔ケアは肺炎等の術後合併症の発症を抑制し、入院期間の減少や医療費の削減などが期待できます。また、口腔機能の維持や口内炎の予防はがん治療の質やQOLの維持、向上に寄与するため、適切な口腔機能管理が必要になります。当院でも開院時より医科歯科連携を行い、周術期口腔機能管理を実施してきました。しかし、周術期口腔機能管理の理解や連携体制が浸透していないため、十分に機能していない現状にあります。本研究の対象者は当院、歯科・歯科口腔外科で周術期口腔機能管理を受けられた患者さんとして、診療録を用いて調査を行い、周術期口腔機能管理の介入状況と今後の課題を検討するために本研究を計画しました。

研究期間

2017年6月1日から2018年3月31日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：患者背景（性別、年齢、原疾患名、既往歴、診断名、治療内容、併用薬、依頼元診療科名、入院日、手術日、退院日、入院期間、術後合併症、転帰）、歯科・歯科口腔外科受診実施状況（歯科受診日、口腔内状況、歯科処置内容、歯科介入回数、かかりつけ歯科、歯科的転帰）

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学江東豊洲病院 歯科・歯科口腔外科 研究責任者：柴田 由美

住所：135-8577 東京都江東区豊洲 5-1-38 電話番号：03-6204-6000